

西南学院百年史編纂諮問委員会について

『西南学院百年史』(仮称) 編纂の 事前準備に関する院長の諮問機関設置に関する件

趣 旨：キリスト教を教育精神として着実な歩みを続けてきた西南学院は、2016年4月に創立百周年という記念すべき時を迎える。この時にあたり、西南学院の歩みにふさわしい『西南学院百年史』(仮称) の刊行が期待される。ところで、どのような百年史が西南学院にふさわしいのか。それはどのような体制と編纂作業によって作成されるのか。本格的な編纂作業に入る前に、検討すべき点は多々あると思われる。そこで、院長の諮問機関を立ち上げ、事前に取り組むべき調査と検討を行い、『西南学院百年史』(仮称) 編纂に関する必要な答申を求めるものである。

名 称：諮問機関の名称は、「西南学院百年史編纂諮問委員会」とする。

委 員：諮問委員会の構成は次の通りである。

塩野 和夫 (委員長、文学部国際文化学科教授)

小林 洋一 (神学部教授)

伊原 幹治 (高等学校教諭)

* 諮問委員会には、必要に応じて寺園喜基院長と高松千博企画広報課課長が出席する。

* 担当部署として、学院史関連業務の担当部署である企画広報課があたる。
なお、学院史関連業務の担当が変更した場合は、改めて検討する。

諮問内容：『西南学院百年史』(仮称) 編纂作業の着手に関する必要な事項の調査と検討を行い、定められた期限までに答申する。なお、調査・検討の具体的な項目は「具体的な検討事項」に記す。

期 間：答申は2006(平成18)年10月を期限とする。したがって、諮問委員会の設置期間は2005年4月から2006年10月までとする。